



▲郷土資料館を背景に泳ぐこいのぼり

大空に泳ぐこいのぼり

郷土資料館に設置されたこいのぼり

4/6

4月6日、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』会員や草塩建設の社員の協力によって、郷土資料館の敷地内に約100匹のこいのぼりが飾られました。

同館3階と敷地内にある松の木との間に張ったロープに取り付けられたこいのぼりが、残雪をいただく山並みや、白石城を模した郷土資料館を背景に空を泳ぐ姿は、登別市の春の風物詩として市民の目を楽しませています。

5月5日(水)の子どもの日まで掲げられるこいのぼり。子どもたちの健やかな成長を願いつつ、春風を受けて力強く泳ぎます。

市内2台目のディープフリーザー・しんた21に設置

4/14

4月14日、総合福祉センターしんた21に市内2台目となる新型コロナウイルスワクチン保管用の超低温冷凍庫（ディープフリーザー）が設置されました。

午前11時にしんた21に搬入された超低温冷凍庫は、早速、電源が入れられて庫内の冷却を開始。約3時間後には、ワクチンの長期保存に必要とされているマイナス75度に達しました。

今後、配布が予定される新型コロナウイルスワクチン。今回の超低温冷凍庫の設置により、安全安心に保管することができ、円滑なワクチン接種に向けた一歩を進めることができます。



▲設置された超低温冷凍庫

保健福祉部健康長寿グループ新設
4月1日、登別市に新たな部署『健康長寿グループ』が設置されました。
主に介護予防の取り組みや後期高齢者の保健事業を行う健康長寿グループは、健康診査や歯科健診、介護予防、認知症施策などを通じて、高齢者の『フレイル※』対策に努めるほか、糖尿病の重症化予防や低栄養防止などにも取り組みます。
これらの取り組みにより、高齢者ができる限り長く健康で自立した日常生活を送ることができるよう支援していきます。
※『フレイル』とは、加齢に伴い身体機能や認知機能、社会的機能が低下した状態のこと。

できる限り長く健康に

4/1

健康長寿グループの主な業務

- ・一般介護予防事業
- ・認知症に関する取り組み
- ・後期高齢者健康診査・歯科健診
- ・後期高齢者糖尿病性腎症重症化予防事業



新1年生の安全願い

新入学児童等を交通事故から守る運動

4/9

4月9日・12日、市内の小学校前の道路や通学路などで、『新入学児童等を交通事故から守る運動』が行われました。
この運動は、市・教育委員会・登別市交通安全協会が主催し4月に入学した新1年生と、自動車のドライバーに交通安全の大切さを呼び掛けることで、交通事故の防止につなげようと、毎年行っているものです。
黄色い旗を手に交通安全を呼び掛ける参加者たちの前を、ランドセルを背負った児童たちが大きな声であいさつをしながら通り過ぎ、元気に登校していききました。



▲見守られて登校する幌別小学校の児童